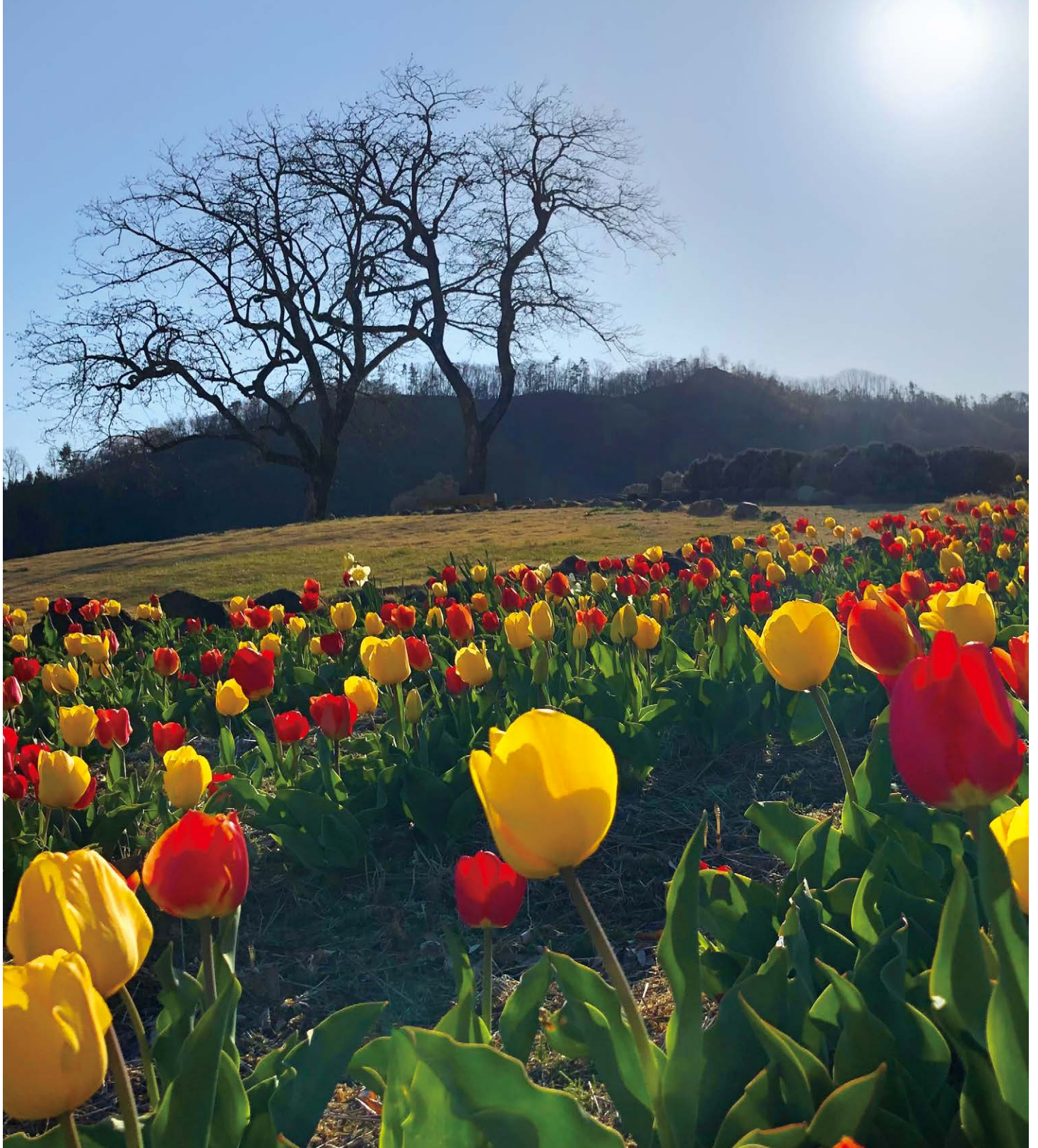


う え だ 市議会だより

令和 2 年12月定例会
令和 3 年 2 月16日号

No.82



マチイロ
マチを好きになるアプリ



Android 版



ios 版

第2回表紙デザインコンテスト『特別賞』受賞作品
作品名：「上田の春を彩るチューリップ」
撮影者：蔡 家樂さん

12月定例会の概要

今後5年間の市の具体的施策を定めた 第二次上田市総合計画「後期まちづくり計画」

可決

市政運営の最上位計画として平成28年度にスタートした「第二次上田市総合計画 前期まちづくり計画」が今年度計画期間の満了を迎えることから、令和3年度から7年度までを計画期間とする「後期まちづくり計画」が議案として提出され、慎重審議の結果、可決しました。

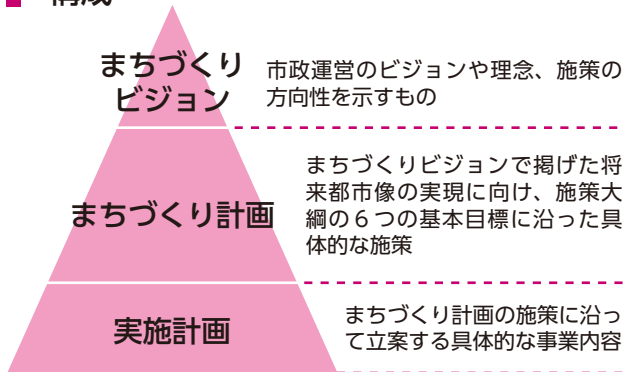
総合計画とは…？

■ 位置付け

市の将来ビジョンを描き、その実現に向けたまちづくりの方向性や施策などを総合的に示すもので、上田市自治基本条例において「まちづくりの最も基本となる計画」として位置付けられています。



■ 構成



■ 計画期間

- まちづくりビジョン
平成28年度 ▶ 令和7年度【10年間】
- まちづくり計画
 - 前期 平成28年度 ▶ 令和2年度【5年間】
 - 後期 令和3年度 ▶ 令和7年度【5年間】
- 実施計画
3年計画で毎年度見直しを実施

＼ココに注目／

POINT なぜ議会の議決が必要なの？

条例において、上田市の長期的な構想や基本計画の策定などについては、市民の代表である議会の議決が必要と定められているためです。

POINT 審査はどのように行ったの？

まちづくり計画に定められている基本施策ごとに関係する常任委員会に分割付託をして、審査を行いました。

委員会での審査概要は、3ページでご紹介しています。

会 期	11 / 19 から 12 / 14 まで (26 日間)
議案数	条例案 8 件、予算案 8 件、事件決議案 19 件、意見書 1 件 合計 36 件を全て可決と決定
一般質問	23 人の議員が一般質問を実施 ▶▶▶ 質問内容は 8 ページ以降に掲載

議 会 ギロ ン

第二次上田市総合計画「後期まちづくり計画」について、常任委員会ではこんな質疑が行われました。

総 務 文 教 委 員 会

Q 「第2編、第2章、節7」の基本施策3では、「災害対応能力の向上を図るため、自主防災組織や関係団体など、多様な主体との連携により、実効性の高い防災訓練を実施します」とあるが、どのような訓練を行うことを想定しているか。

A 避難所では、新型コロナウイルス感染症を考慮した運営が課題であることから、感染症対策を踏まえた避難所運営訓練を行う予定である。また、さまざまなケースを想定する中で、夜間訓練などの実効性の高い訓練についても検討をしていく。

産 業 水 道 委 員 会

Q 基本施策の中で「安定的な農業経営と担い手の確保」を掲げているが、担い手の確保は喫緊の課題であり、人的資源や資金を重点的に投入する必要があると考えるが、担い手確保に向けてどのように取り組む考えか。

A 新規就農者の獲得を目的として、周辺自治体や県、JAなどで組織する「NPAプロジェクト」を令和元年度に立ち上げ、事業を展開していることから、事業の進捗状況を注視しつつ、必要に応じて支援を拡充していきたいと考えている。

厚 生 委 員 会

Q 「出産・子育てしやすい環境の実現」の達成度を図る指標・目標値を「乳幼児健診の受診率」とした根拠は何か。また、目標値を100%とする理由は何か。

A 前期計画では、「両親学級の参加率」を挙げていたが、正確なデータ把握がしづらいことに加え、全国的な基準値等との比較が難しいことから、今計画では、「乳幼児健診の受診率」を指標とした。

また、目標値は、乳幼児健診の重要性を広く周知することにより、達成を目指すものである。

環 境 建 設 委 員 会

Q 循環型社会形成の推進について、資源循環型施設の建設を契機としたまちづくりの推進に当たり、建設候補地周辺の地域振興をどのように進めていくか。

A 今後、建設候補地周辺地域の住民と地域振興について協議する場を設けたいと考えている。この中で、環境影響評価の実施や資源循環型施設の安全・安心な在り方の検討と並行して、地域の意見・要望を聴きながら、施設周辺の土地利用の見直しや道路整備などの振興策について協議を進めていきたい。

予算

PayPayポイントバック キャンペーン(第2弾)を実施

一般会計 補正予算

可決

新型コロナウイルス感染症対策や消費喚起などの経費が計上された「一般会計補正予算」を可決しました。主な新規事業などをご紹介します。



予算の概要

一般会計補正予算のポイント



1億3,000万円

PayPayの支払いで
決済額の30%をポイント還元

消費喚起応援事業

新しい生活様式の普及と消費喚起を目的として、ポイントバックキャンペーンの第2弾を実施。

<想定される消費喚起効果>約13億円

<主な財源>地方創生臨時交付金

※本キャンペーンは既に終了しています。

消費
喚起

6,127万円

発熱患者の診療などを行っている
医療機関や医師、
看護師などを支援

発熱患者受入医療機関協力金

主な支援内容

■発熱患者の診療を行っている医療機関

1機関あたり30万円

■県から「診療・検査医療機関」の指定を受けた医療機関

・診療と検査を行う場合 1機関あたり30万円

・診療のみを行う場合 1機関あたり20万円

コロナ
対策

1,694万円

修学旅行
キャンセル料等を支援

修学旅行のキャンセル等に伴う 保護者負担軽減事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止または延期となった小中学校の修学旅行に対するキャンセル料等への保護者負担を支援。

コロナ
対策

368万円

市議会に
タブレット端末を導入

タブレットを活用した議会ICT化事業

議会で使用する紙の削減や議事の効率化などを目的に、タブレット端末を導入。



※写真はイメージです

詳しくは5ページをご覧ください

市議会に タブレット端末を 導入します



※写真はイメージです

主な 利用 目的

1. **議会活動で利用**…本会議や委員会の際に資料の閲覧等を行います。 ⇒ **議事の効率化**
2. **議案を配布**……これまでは議案等を紙で配布していましたが、
・ **閲覧** データで配布します。 ⇒ **ペーパーレス化**
3. **緊急時に利用**……災害発生時に災害情報の共有などを行います。 ⇒ **情報共有の迅速化**

検討の経過

令和2年3月 「ICT推進議員連盟」が長野市議会を視察

議員有志で構成するICT推進議員連盟の所属議員などが長野市議会を訪れ、「タブレット端末の導入・活用」について調査を行いました。



6月 「議会タブレット導入研究委員会」設置

タブレット端末の導入に向けた調査や研究を行うため、研究委員会を設置しました。

1月末時点で委員会を14回開催し、利用目的や必要となる機能、運用方法などについて協議を行いました。



7月 茨城県取手市議会をオンライン行政視察

議会タブレット導入研究委員会で「タブレット導入の経緯」や「オンライン会議の実施方法」など、取手市議会の取り組みについてオンラインで行政視察を行いました。



12月 12月定例会で議員の私用ノートパソコン・タブレットを試験的に使用

タブレットの運用方法を検討するため、12月定例会の本会議や委員会では、議員が私用のノートパソコンやタブレットを使用しました。



今後の予定

現時点の予定です。今後変更となる場合があります。

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

運用方法の
検討・決定

端末導入
研修

6月議会
試験運用

試験運用
の検証

9月議会
試験運用

試験運用
の検証

12月議会～
本格運用

総務文教委員会

●11月30日及び12月4日に開催し、条例案3件、予算案1件、事件決議案11件、陳情1件の審査を行いました。

一般会計補正予算

問 新本庁舎移転業務委託料では、新本庁舎への移転に向けた移転業務委託契約の業務内容に変更が生じることから、委託料は減額し、債務負担行為の限度額は増額することだが、変更が生じた理由はどうか。

答 当初の予定では、3月に引越しのダンボール等を各課に配布し、準備を進める予定であったが、現庁舎の広さなどを考慮する中で、準備作業の開始時期

を4月に変更している。このため、移転業務委託契約の今年度の業務内容が減少し、来年度の業務内容が増加したことから、今年度については委託料を減額し、来年度については債務負担行為の限度額の増額をしている。

問

小学校費では、通信運搬費を100万円計上しているが、理由はどうか。

答

新型コロナウイルス感染症の影響により、4月と5月は臨時休業を行ったが、臨時休業中は、保護者への連絡を電話で行っていた。また、電話料金が高い携帯電話に連絡することが多く、通信運搬費の支出が増えたことから、増額補正をするものである。

産業水道委員会

●12月7日に開催し、条例案2件、予算案4件、事件決議案2件の審査を行いました。

一般会計補正予算

問

スマートフォン決済事業者と連携したポイント還元キャンペーンの第2弾を実施するたため、消費喚起応援事業負担金を増額したとのことだが、第1弾の結果を踏まえて改善した点はあるか。

答

第1弾では60代以上の利用が少なかったことから、利用者層の拡大を図るため、第1弾では市内1会場のみで開催した市民向け説明会を、第2弾では公民館単位で開催する。

問

武石地域の官行造林地の契約期間満了に伴い、国の持ち分を買い取るための経費を計上しているが、買い取りに至った経緯はどうか。また、買い取り後の活用方針はどうか。

答

契約の延長も含めて協議を行ったが、原則として契約を延長しないという国の方針から、買い取りに至ったものである。また、水源涵養保安林の指定地域であることや、現時点では立木が十分に育っていない森林が多く、木材としての販売収益が見込めないことから、当面は適正な維持管理に努めていく考えである。

常

任

委

員

会

の

審査概要

●12月4日に開催し、条例案3件、予算案5件、事件決議案3件、陳情1件の審査を行いました。

一般会計補正予算

問 感染症対策事業費の発熱患者受入医療機関協力金について、新規メニュー分2,447万円余を追加計上しているが、内訳と内容はどうか。

答 県の診療検査体制が変更されたことに伴い、県が指定する診療検査医療機関が診療と検査を行う場合は30万円、診療のみの場合は20万円を支給するもので、30万円の支給は45医療機関、20万円の支給は10医療機関

を見込んでいる。また、休日緊急医には、1回当たり3万1,600円の支給を行うもので、1医療機関当たり4回分を見込んでいる。

市立産婦人科病院

事業会計補正予算

問 オンライン資格確認システム導入によって図られる改善点と効果はどうか。

答 資格過誤によるレポート返戻の削減とともに、患者の同意の下ではあるが、過去の薬剤情報や特定健診情報等の閲覧が可能となることから、スムーズな診療につながるものと思われる。

●12月7日に開催し、予算案1件、事件決議案6件、議長要請1件、陳情1件の審査を行いました。

一般会計補正予算

問 飼犬等管理事業費のうち、バスコントロール事業負担金を増額補正しているが、地域猫活動事業基金の残高はどうか。また、今後の地域猫活動事業の予定はどうか。

答 今回の増額補正分を差し引くと、基金の残高は128万4千円余となる。地域猫活動事業については、自治会への周知が進んだことにより、申請や問い合わせが増えていることから、来年度

以降、クラウドファンディングを実施し、事業を継続していきたいと考えている。

問

別所線運行経費補助金のうち、別所線災害支援措置補助金について、新型コロナウイルス感染症の影響により輸送人員が減少したことを考慮して、増額する予定はあるか。

答

別所線災害支援措置補助金は、別所線の長期的な運行の確保に関する計画に基づく災害時借入金への支援措置として予算化したものであることから、新型コロナウイルス感染症の影響を理由に補助金を増額する予定はない。

厚生委員会

環境建設委員会

23人の議員が市政を問う

12月定例会一般質問要旨

12月定例会では、一般質問を11月30日、12月1日、2日の日程で行いました。

答弁者名は以下のとおり省略して記載しています。

市長…市長	教育長…教育長
政策研究…政策研究センター長	総務…総務部長
財政…財政部長	市民まち…市民まちづくり推進部長
生活環境…生活環境部長	福祉…福祉部長
健康こども…健康こども未来部長	商工観光…商工観光部長
教育次長…教育次長	会計…会計管理者

掲載記事は、質問議員本人が作成しており、質問全体の一部を要約したものです。質問全体の内容については、会議録に掲載しています。会議録は、議事事務局、市内図書館、公民館および上田市議会ホームページからご覧いただけます。なお、一般質問の様子は上田ケーブルビジョンおよび丸子テレビ放送のご協力により、生放送および録画放送を行っています。



上田城跡復元整備

宮下 省二 (社志会)

問 古写真や実測図がなくとも櫓復元は可能であると考えますが、国の見解はどうか。また、江戸時代から現存する西櫓は重要文化財に匹敵する価値があると考えますが、見解はどうか。

答 (教育次長) 今年の4月、文化庁の文化審議会では、調査を尽くしたにも関わらず古写真等の資料が見つからない場合は、類似する同時期の建造物を参考にした復元的整備という新たな基準を示した。こうした中、上田城跡

の整備について意見を聴取するため、史跡上田城跡整備専門家会議を設置したが、コロナ禍により十分な議論ができていないため、近日中に書面により意見聴取した結果をまとめ、文化庁と協議したいと考えている。また西櫓については、全国に残っている同時期の櫓はほぼ国の重要文化財に指定されていることから、上田城の櫓も同様の価値を有するものと考えられる。今後も粘り強く文化庁と交渉し、早期に実現できるよう取り組んでいく。

●その他の質問項目

1. 資源循環型施設建設
2. 防災対策



政策研究センター設置効果の検証

中村 悠基 (上志の風)

問 今年度より、NTT東日本から専門人材の派遣を受け、政策研究センターに配属されているが、どのような成果を上げているか。

また、政策研究センターの成果はどうか。

答 (政策研究) 新型コロナウイルス感染拡大時には、市職員の在宅勤務実施に当たってのテレワークシステムの提供や、休校時における小学生の学習支援クラウドシステムの無償提供をいただいている。今後も同社において、

行政事務の効率化につながる技術や、スマート農業等の実証実験に向けた検討を進めていただいている。

政策研究センターでの今年度の調査研究事業の取り組み状況は、スマートシティ化推進計画の策定に関して、市内連携体制により市民サービスの向上や市内業務の改善につながるICTの活用方法を検討するとともに、産業界など各分野の団体と40回を超える意見交換を行い、その中で上田市の現状と課題を把握した上で、課題解決に向けたAIやIoT等の活用可能性を検討している。

ICT…Information and Communication Technologyの略。情報通信技術のこと。

IoT…Internet of Thingsの略。さまざまな物がインターネットにつながること。



国民健康保険

古市 順子 (日本共産党)

問 今年度の国保税は応益割の比率を上げたことで、全体改定率 1.1% 減であったが、低所得者への影響が大きく、所得 200 万円、大人 2 人、子ども 1 人世帯の国保税は、対所得 17.3% と試算されている。上田市は県の標準保険料率に近づけたが、19 市中、均等割は上位 4 位、平等割は上位 8 位であった。低所得者ほど負担が大きく滞納の要因となっているため、来年度は基金を活用し均等割と平

等割の減額を図るべきではないか。

答 (健康こども) 県の国保事業費納付金は、医療給付費以外の不確定要素により増減があることや、新型コロナウイルス感染症の影響などが不透明なことから、基金の活用については慎重に検討する必要があると考えている。税率改定の際には低所得者に急激な負担とならないよう配慮しつつ、将来的には県が示す標準保険料率に基づく賦課割合に近づけていくよう努力していく必要があると考えている。

●その他の質問項目

1. 農業問題



公立大学法人長野大学

南波 清吾 (上志の風)

問 教職員のレベルアップが図れないことなどにより大学改革が進まない状況が続き、学生数の減少によって大学経営が悪化するのであれば、公立大学法人からの撤退などを視野に入れる必要があると考えるが、見解はどうか。

答 (市長) 大学では、初の大学院設置を実現するとともに、理工系学部設置の具体化に向けた検討など改革を推進しているが、少子化の進行による志願者数の減少に対し公立化効果

には限りがあり、今後の地方大学にあっては競争力を強化していかなければ生き残れないことは明白である。

そのための大学改革は必要不可欠であり、大学の教職員もこうした危機感を共有し、何よりも学生のため、そして市民が誇れる大学となるよう、市としても大学とともに覚悟を持って取り組まなければならないと考えている。

●その他の質問項目

1. 第二次上田市総合計画後期まちづくり計画



移住・定住につなげる取り組み

金沢 広美 (公明党)

問 テレワークを進めていくための課題をどのように捉えているか。

答 (商工観光) ハード整備の他、勤務状況管理や情報漏洩対策等、社内規定などのソフト面の整備が新たな課題と認識している。市ではサテライトオフィス開設事業補助金を設けているが、サテライトオフィスに限定せず、テレワークを推進したい企業の新たな需要にも対応できるよう、制度の拡充を検討している。

問 第二次上田市総合計画後期まちづくり計画で

関係人口の創出を推進するとしているが、具体的な計画はどうか。

答 (市民まち) 観光地としてだけでなく、魅力ある移住先としても選ばれるように、移住相談会への出展やホームページ等での情報発信を行う他、移住体験ツアーやクラインガルテンなど上田での生活体験の提供、日本遺産という新たな魅力や歴史、文化を活用し、市民や企業と連携しながら地域イメージの向上や地域ブランドの確立などを図っていく。

多様な形で継続的に上田市と関わる関係人口や、その先の移住定住人口の創出、拡大につなげたいと考えている。



高齢者への予防接種

金子 和夫 (仁政会)

問 高齢者を対象とした予防接種は何か。また、費用負担の状況はどうか。

答 (健康こども) 定期接種の対象となる疾病はA類疾病とB類疾病に分類され、A類疾病は接種を受ける努力義務や接種勧奨があり、概ね未成年者が対象である。B類疾病は努力義務や接種勧奨が無く、インフルエンザと高齢者の肺炎球菌感染症が分類され、主に高齢者が対象となっている。対象者によって費用負

担に違いはあるが、一般的に一部公費負担でインフルエンザは1,300円、高齢者肺炎球菌感染症は2千円の自己負担となっている。

問 高齢者の3人に1人が発症すると言われる帯状疱疹は、ワクチンの接種で予防が可能だが、予防接種についてどのように考えているか。

答 (健康こども) 帯状疱疹ワクチンの任意接種費用は約2万円であり、市独自の助成は難しいが、国の検討状況を踏まえ、適切な対応を行っていく考えである。

●その他の質問項目

1. ~朝から健幸~「あたま・からだ元気体操



人が人を育てることが教育の原点

久保田 由夫 (日本共産党)

問 「人が人を育てることが教育の原点」と考えることから、GIGAスクール構想で児童生徒に1人1台のタブレット端末を整備することは、教育の方法、手段であり、教育の目的ではないと考えるが、見解はどうか。

答 (教育長) ICT機器を使った教育活動は、タブレット端末を持たせることが教育の目的ではなく、その使い方やタブレット端末を使って得た情報を、どのように活用していく

のかを教えることが重要と考える。

問 ICTの活用に当たり、児童生徒一人ひとりに合った学習を保障し、新たな教育格差が生じないようにすることが必要である。休校中のICTの活用状況はどうであったか。

答 (教育長) 学校のホームページに教員による授業動画やメッセージを掲載した他、UCVやMTVにおいて、県教育委員会作成の授業動画を放送するなど、学習の継続を図った。

●その他の質問項目

1. 市の財政
2. コロナ危機と今後の自治体のあり方



市立産婦人科病院と産前産後ケア事業

齊藤 加代美 (新生会)

問 市立産婦人科病院運営審議会への諮問内容や、答申後の市民意見聴取の考えはどうか。

答 (健康こども) 地域周産期医療の将来を見据えた継続的な提供体制の維持を前提とした上で、公立病院としての役割やその在り方について、抜本的な経営改善を踏まえた方針を示していくため、病院の在り方について議論いただくよう諮問した。答申を受けて市で策定する運営方針案に対してパブリックコメント

を実施し、市民の意見を聞く考えである。

問 産後補助券等を導入し、本人の意思で直接支援を受けられる仕組みが必要ではないか。

答 (健康こども) デイサービス型産後ケア事業の受け入れ施設の確保が課題である。よりきめ細やかな支援を行うためには、産後ケア事業のメニューの充実も含め、実施機関等との協議を進めながら、子どもを安心して産み、育てられる環境の整備に取り組んでいく。

●その他の質問項目

1. ごみ減量化に伴う市民の取組と評価
2. 婚活事業の成果とその後の支援



少人数学級の優れた価値

渡辺 正博 (日本共産党)

問 少人数学級導入の方向性は定まってきたものの、教育再生実行会議のワーキング・グループでの議論はまだ途上である。萩生田文部科学大臣は、「さまざまな効果を想定した上で、追々またしっかりエビデンスを示していきたい」と述べていることから、議論の深化が期待されるが、国の動向を待つのではなく、市独自の判断で20人規模学級実現を目指すプロセス（行程）を検討してはどうか。

答 (教育長) 国のルールに則らず教員を配置した場合、国や県からの財政支援が無く、人件費等を全額市で負担する必要があること、教室や教員の確保等に課題があることから、現状では市単独判断での20人規模学級は難しいと考えている。国でも少人数によるきめ細やかな指導体制などに関する議論が行われていることは承知している。少人数学級を進めることは有効な手だてであると考えているが、国の動向を注視しながら対応していきたい。

●その他の質問項目

1. 上水道事業



教職員の負担軽減

井澤 毅 (新生会)

問 コロナ禍での教職員の負担軽減について、実施状況はどうか。

答 (教育長) 新たに学習指導員を4校に5人、学習指導補助員を21校に45人、スクールサポートスタッフを18校に21人配置した。

また、小中学校8校では、地域ボランティアの方に新型コロナウイルス対策のための消毒や清掃作業に協力をいただいている。

問 文部科学省が実施した学校給食費に係る公会

計化等の調査には、どのような回答をしたか。

答 (教育長) 学校給食費の公会計化について、「実施に向けて準備・検討している」、実施予定時期は「令和5年度以降」と回答した。

問 学校給食費の公会計化は具体的な実施目標を設定し、できる限り早期に実現すべきと考えるが、見解はどうか。

答 (教育長) 全国の先行事例を参考にしながらさらに調査研究を進めるとともに、他自治体の動向を探る必要があると考えている。

●その他の質問項目

1. 保護者の経済的負担軽減

傍聴者の声

本会議を傍聴されたみなさんの声

～こんなご感想・ご意見をいただきました～

12月定例会本会議の傍聴者数は延べ40人でした。

傍聴された皆さんから寄せられた、ご感想やご意見の一部を紹介します。

- 初めて傍聴に来ました。議員の方々の苦労や努力が伝わりました。(40代・男性)
- 来年出産予定なので、切実に感じていることを直接聞くことができ有意義でした。
(30代・女性)
- 子育て中の世代が傍聴しやすい仕組みがほしい。女性の傍聴者が多く、心強く感じた。
(60代・女性)



男女共同参画社会の推進

池上 喜美子 (公明党)

問 上田市における男性の育児休業取得状況と課題に対する取り組みはどうか。

答 (市民まち) 全国と比較して取得率は低い。現在行っている第4次上田市男女共同参画計画策定のための意識調査の結果を踏まえた上で施策を検討し、次期計画に反映していく。

答 (総務) 市職員の取得状況は、ここ数年毎年1人程度であったが、今年は既に3人が取得している。職員の意識高揚と、休暇や休業が

取得しやすい職場環境づくりに努める。

問 男性の育休取得には両親学級の充実が必要であるが、現状はどうか。また、体罰によらない子育ての考え方を内容に入れてはどうか。

答 (健康こども) 初妊婦は約6割、父親になる方は約5割が参加。さまざまな機会を捉え、夫婦での育児の必要性を伝えている。両親学級の内容の検討も含め、全ての保護者に子育てで最も基本的な子どもとの向き合い方等を効果的に伝えられるよう、より一層努める。

●その他の質問項目

1. 子宮頸がんの予防



脱炭素社会に向けた取り組み

石合 祐太 (新生会)

問 公共施設の省資源化や省エネルギー化、電力の再生エネルギー化など、地球温暖化対策に関する今後の取り組み方針はどうか。

答 (生活環境) 今年度終期を迎える地域新エネルギービジョンの施策を引き継いだ、地球温暖化対策地域推進計画の策定を新たに予定している。本計画は、温室効果ガス排出量の削減目標を定めるとともに、再生可能エネルギーの普及促進や省エネルギー対策などの具

体的な温暖化対策を推進するものである。今後は本計画に基づき、気候変動対策としての緩和策や適応策の方針を示しながら、脱炭素社会を目指す取り組みを推進していく。

問 上田市として気候非常事態宣言や2050年ゼロカーボン宣言を行う考えはあるか。

答 (市長) 地球温暖化対策推進の意識を醸成するためにも、気候非常事態宣言や2050年実質ゼロカーボンを表明することは大変重要と捉えている。前向きに検討したい。

●その他の質問項目

1. 公共交通
2. 交通安全対策



住宅政策

成瀬 拓 (日本共産党)

問 市営住宅に関する今後の考え方はどうか。

答 (生活環境) 入居者の高齢化による自治会活動への影響や、住宅の84.4%が耐用年数を経過し、老朽化対策が喫緊の課題である。これらの課題や人口推移などを踏まえて整備を進め、住宅確保要配慮者への住宅のセーフティーネットの役割が果たせるよう努めたい。

問 松本市の住宅用温暖化対策設備設置補助金制度など、他市の取り組みを参考に省エネ

ル住宅を推進すべきと考えるが、どうか。

答 (生活環境) 太陽光発電を中心に導入促進を図るとともに、蓄電設備も温暖化対策に効果があることから、他市の取り組みを調査研究し、補助制度について検討したい。

問 自治体の責任として、住宅に関する現行制度の改善を国に求めるべきと考えるが、どうか。

答 (生活環境) 住宅政策は多岐にわたるため、制度の拡充または充実等が必要と判断した場合には、国への要望を検討したい。

●その他の質問項目

1. 平和行政



財政状況と予算編成

松尾 卓 (公明党)

問 今後の厳しい財政状況から、新たな財源の確保はもちろんのこと、さまざまな国の方針と市の課題解決のための市独自の施策である「後期まちづくり計画」とのマッチングが重要である。

さらに、市長公約の実現に向けた取り組みを踏まえ、今後の施策展開や予算配分について、任期中最後の1年となる土屋市長の考えと決意はどうか。

答 (市長) 令和3年度当初予算編成では、大変厳しい財政状況が予想されるため、まずは新型コロナウイルス感染症対策事業や、最優先課題として公約に掲げた資源循環型施設建設に関する予算に対して優先的な配分を行う。

また、後期まちづくり計画では、子育て支援の充実や最先端技術の活用など、これからのまちづくりにおいて重要性の高まる施策の他、災害対応や感染症対策などの課題に必要な施策など、喫緊の課題を踏まえた施策を盛り込んでいる。



看護人材の育成

佐藤 清正 (社志会)

問 上田看護専門学校を令和7年3月で閉校するとして医師会の結論をどう受け止めているか。

答 (健康こども) 卒業生の上小医療圏での就職状況は、令和元年度で准看護学科78%、看護学科47%であり、地域に根差した看護人材養成機関の役割を担っている。現行の専門学校の閉校は、医師会の総意として出された結論であり、大変重いものと受け止めている。医師会や県、関係市町村とも協議を行いつつ、

医師会が実施を検討している他校の授業料等を参考とした新たな財政シミュレーションを含め、支援の在り方について検討を進める。

問 看護師を目指す学生の大学志向を受け、将来的に持続可能な看護師育成機関として長野大学に看護学部を設置すべきと考えるがどうか。

答 (市長) 公立化検討時からの課題である理工系学部の新設に向け検討を進めている段階であり、まずはこれを優先したい。

● その他の質問項目

1. コロナ禍における在宅支援事業
2. 防犯灯のLED化

傍聴者の声

本会議を傍聴されたみなさんの声

～こんなご感想・ご意見をいただきました～

- とても良い社会勉強になり、今後も傍聴したいと思いました。(20代・男性)
- 初めて傍聴しました。上田市ってこんなことを考えているんだ！という発見がありました。
(20代・女性)
- 傍聴者(UCV、録画も含め)を増やすことは、上田市の活性化につながると感じた。
(60代・女性)
- 初めての傍聴でしたが、とても参考になりました。多くの市民が傍聴する必要があると思います。(70代・男性)



コロナ禍の生活弱者対策

西沢 逸郎 (仁政会)

問 急速な感染拡大により離職者の急増が予想されるが、再就職支援や県の緊急雇用対策事業との連携に関する取り組み状況はどうか。

答 (商工観光) 就労サポートセンターでの無料職業紹介では、面接や職務経歴書の書き方指導など、相談者に寄り添った伴走型の支援の他、国や県、ハローワーク、まいさぼ上田など関係機関が実施する支援策と相談者とのマッチングを行っている。緊急雇用対策事業は、再

就職支援や人材確保にもつながる有効な事業と捉えており、県と連携しながら市民や業界団体への周知を行うことで、離職者の利用につなげ、再就職を支援していく考えである。

問 コロナ禍でのシングルマザーに対する相談体制についての考えはどうか。

答 (健康こども) ひとり親世帯の負担軽減に向けた丁寧な相談対応に引き続き努めるとともに、支援の充実に向け取り組みを進めていく。

●その他の質問項目

1. 気候変動対策
2. 子育て支援
3. 上田市の人材育成
4. スポーツ施設整備



子どもに関する政策

飯島 伴典 (上志の風)

問 子どもに関する予算の部局別の配分状況はどうか。

答 (財政) 令和元年度の決算額では、健康こども未来部が約 60 億円、教育委員会が約 40 億円、総務部が約 38 億円、福祉部が約 7 億円で、合計では約 145 億円となっており、一般会計に占める割合は約 21%である。

問 医療的ケア児に関する課題解決策はどうか。

答 (福祉) 医療的ケアが必要な子どもと家庭で

介護を行っている保護者の方々が、地域で日々安心して過ごせるようレスパイト入院や訪問看護ステーションなど、既存の社会資源の拡充や、つむぎの家の後継施設について検討していきたいと考えている。

問 子どもに関する課題を専門的に扱う部署を設置する考えはあるか。

答 (市長) 子どもや子育て家庭のニーズの把握に努め、関係機関の意見も聞きつつ、必要な組織改正も視野に入れながら、出産から子育て、教育支援まで切れ目のない一貫した支援体制の充実を図っていきたいと考えている。



空き家を活用した子育て世帯等向け支援

斉藤 達也 (新生会)

問 空き家バンク成約者は上田市在住の子育て世代の割合が高いが、どう分析しているか。

答 (市民まち) 市内在住の 30 から 40 代が 57%を占めることから、子育て世代のアパート等から戸建て住宅へ移るニーズが高いものとする。

問 子育て世帯や移住希望者等を対象とした「空き家リノベーション住宅サブリース事業」を提案するが、前向きに検討できないか。

答 (市民まち) 移住定住の促進や、特定空家準備軍の減少による地域環境リスクの低減等につながる一つの有効な選択肢という印象を受けている。リノベーションは既存の建物に新たな価値や機能を加えることであり、子育て世帯や移住者のみならず、就業支援、観光振興等さまざまな用途のための改修全般を含む。ご提案の事業に取り組んでいくためには、今後政策研究センターも加える中で、住宅課や空家対策室、商工観光部、民間の不動産事業者等さまざまな角度からの情報を収集し、課題を全庁的に網羅しながら、関係部署が横断的に連携しつつ調査研究を進めていく。



製造業への支援と地域戦略

松山 賢太郎 (仁政会)

問 製造業に特化した新型コロナウイルス関連の支援として、感染予防対策への市独自の追加支援や、私的な検査への補助、複数事業所による一斉検査の体制整備は検討できないか。

答 (商工観光) 事業所への感染予防対策支援については、国の小規模事業者持続化補助金の活用を推進中であり、市独自の追加支援策は考えていない。検査費用の補助や複数事業者による検査体制づくりは難しいと考えている。

問 小規模サテライト工場や研究所等向けの施設を整備し、開発型企業を誘致してはどうか。

また、ソフト開発企業を対象とした拠点整備事業を検討できないか。

答 (商工観光) 集合小規模工場施設等は、開発型企業や首都圏のサテライト工場、研究所等の誘致に有効な手法と受け止めており、検討する必要があると考えている。また、ソフト開発企業は、ワーケーションを意識した候補地を選択する傾向も生じており、昨年度から改修費や家賃の一部を支援していることから、誘致実現につなげたいと考えている。



上田市財政

池田 総一郎 (上志の風)

問 今年度は新型コロナウイルス関連や災害復旧のため、通常の前よりも多額の財政支出があったが、起債と財政調整基金の状況はどうか。

答 (財政) 12月補正時点での市債発行見込額は143億9千万円余で、このうち54%が後年度に交付税措置される見込みである。また、今年度末の起債残高見込みは699億6千万円余である。財政調整基金は、令和元年度末

で39億円余であったが、7億7千万円余の繰り入れを行った結果、今年度末の残高見込みは31億円余となっている。

問 未利用となっている市有財産を、地域で有効活用することについての見解はどうか。

答 (財政) 長野県宅地建物取引業協会上田支部と売却方法等について相談することで、積極的な売却を進めている一方、地域における有効活用の可能性を検討することも、地域活性化の観点から重要であると考えている。

●その他の質問項目

1. 学校教育

注目!

「令和2年度議会報告会」

YouTube で公開中!

令和2年10月17日に開催した上田市議会報告会は、上田市議会“初”となる「YouTube ライブ」による生配信を実施しました。

当日の様子は YouTube で公開していますので、ぜひご覧ください。

また、チャンネル登録もお願いします。



YouTube はこちらから



当日の配布資料はこちらから



ワーケーション…「ワーク」と「バケーション」を合わせた造語。テレワークを活用し、職場や居住地から離れた観光地等で余暇を楽しみつつ仕事を行うこと。

財政調整基金…年度によって生じる財源の不均衡を調整するために、財源に余裕がある年度に積み立てておくもの。地方公共団体の貯金。



経済対策

佐藤 論征 (新生会)

問 新型コロナウイルス感染症による新たな生活様式・経済活動に対応した商工振興策が重要と考えるが、見解はどうか。

答 (商工観光) 今後の商工業振興策は、ウィズコロナ、アフターコロナの視点などを踏まえ、今年度末までに事業者や関係機関の意見を聴く機会を設け、商工業振興プランの見直しを行い、コロナ禍でも地域経済が持続的に発展するよう常にブラッシュアップを図って



キャッシュレスの活用

林 和明 (新生会)

問 上田市が取り扱う税金や入館料などの支払いにおいて、キャッシュレス決済導入に関する検討状況はどうか。

答 (会計) 公金収納業務の合理化や効率化を図るため、総合収納システムを導入することとしており、この中で住民サービスの向上を目的として、キャッシュレス決済について準備を進めている。キャッシュレス決済による支払いが可能となるのは、市税や保険料、保育



上田市の観光地域の 新型コロナウイルス感染症対策

金井 清一 (社志会)

問 補助金額や対応状況、今後の対応策はどうか。

答 (商工観光) 国の緊急事態宣言による往來の自粛等により、ほぼ全ての予約がキャンセルとなった宿泊事業者への支援として、上限を300万円とした上で宿泊定員に7,500円を乗じた支援金を支給した。11月末現在で市内全191事業者のうち166事業者へ支給を行い、支給総額は1億892万円余である。

また、宿泊事業者の固定費を軽減し事業継

いく。

問 企業誘致は、雇用創出などにおいて大変重要であるが、現在の景気低迷が与える影響はどうか。特に箱壘工業団地への影響はどうか。

答 (商工観光) コロナ禍でも企業からの問い合わせ件数は減少しておらず、一定のニーズがある。箱壘工業団地は、購入を申し込んだ市内企業においてコロナ禍による業績への影響があるものの、事業拡大に向けた積極的な投資姿勢に変わりがないことを確認している。

●その他の質問項目

1. 令和3年度当初予算編成方針と財政運営

料、住宅使用料、水道料金等を予定している。

問 地域独自の電子通貨を導入してはどうか。

答 (商工観光) 上田市版デジタル地域通貨の導入について、政策研究センターと連携し研究を進めた結果、既に全国で導入実績のある民間企業の協力をいただく中で、市内3商工団体とともに官民連携の実証実験に取り組むことの合意が得られたことから、現在その協定の締結に向けて最終調整を行っているところである。

●その他の質問項目

1. 日本遺産の認定

続を図るため、4月から9月までの温泉使用料相当額の支援金を支給した。11月末現在で対象となる全事業者へ支給が完了し、支給総額は3,017万円余などの支援を実施した。

今後は冬の誘客に向け、索道事業者支援事業などをさらに推進するとともに、情報発信等を積極的に展開していく。また、国や県の動向を注視するほか、宿泊事業者や観光関連事業者の声をお聞きする中で、効果的な支援が適時実施できるよう検討していく。

●その他の質問項目

1. 日本遺産
2. 森林経営管理制度

意見書を可決

災害からの復旧・復興などに向けた 社会資本整備の促進を求める意見書を国に提出

環境建設委員会から意見書議案が提出され、審議を行った結果、全会一致で可決し、国に意見書を提出しました。



災害からの復旧・復興及び国土強靱化に向けた 社会資本整備の促進を求める意見書

近年、全国各地で自然災害や大規模地震が多発しており、上田市においても、令和元年東日本台風により甚大な被害が発生しています。また、糸魚川―静岡構造線断層帯による地震が発生した場合、上田市では最大震度7の地震が想定されており、大規模災害への備えは喫緊の課題となっています。

一方、国においては、強靱な国土づくりを強力かつ継続的に進めるため、令和3年3月末までを期限とした「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を策定し、集中的な取組が行われていますが、被災地においては、依然として防災や減災の対策を要する箇所が多く残されていることに加え、老朽化が進むインフラの計画的な予防保全や災害リスクの増大に対応した道路網の整備等が急務となっています。

また、治水対策は、流域自治体間が連携して流域や河川の地形的特性など流域の状況に応じて様々な対策を組み合わせ、水系全体で災害防止に取り組むことが必要であり、国による一級河川の一元管理が求められるところです。

よって、国におかれては、防災・減災、国土強靱化に向けた社会資本整備を一層進めるため、下記の事項について特段の措置を講じるよう強く要望します。

記

- 1 令和元年東日本台風及び令和2年7月豪雨による災害からの早期復旧・復興を図るため、必要な予算の確保と事業の推進を図ること。
- 2 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を令和3年度以降も継続するとともに、道路ネットワークの整備と社会インフラの老朽化対策を含めた、国土強靱化地域計画に基づく防災・減災の予算を確保し、補助対象事業の拡大等に努めること。
- 3 防災・減災に資する「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を推進するとともに、一級河川については、河川整備や災害情報伝達等の面から国が一元管理すること。
- 4 高規格幹線道路の整備等により広域道路ネットワークを強化すること。
- 5 災害発生時の迅速かつ円滑な復旧及び国からの継続的な人的・技術的支援を確保するため、地方整備局の人員・体制の強化、拡充を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和2年12月14日

上田市議会議長 土屋勝浩



□□□□□□

意見書提出先

- | | |
|---------|---------|
| ○内閣総理大臣 | ○総務大臣 |
| ○財務大臣 | ○農林水産大臣 |
| ○国土交通大臣 | ○内閣官房長官 |
| ○衆議院議長 | ○参議院議長 |
| | など |

知事

「意見書」とは・・・？

市民生活に重要であり公共の利益に役立つものであるが、市だけでは解決できないものなどについて、議会としての機関意思を意見書として取りまとめ、国などの関係府庁や国会へ提出するものです。

これまでに上田市議会が提出した意見書は、
上田市ホームページからご覧いただけます。



みなさんからの陳情 4 件を審査

陳情番号	件名	提出者	審査結果
陳情第 8 号	上田市立第五中学校屋内運動施設建て替えにおける代替施設整備に関する陳情	荒井公德 氏	不採択
陳情第 9 号	自治会・まちづくり協議会などによる恒久的な市道の路肩及び法面、側溝等の維持、補修管理を実施できる組織づくりについての陳情	荒井公德 氏	不採択
陳情第 10 号	上田市議会への陳情における審査結果についての通知書への審査決定理由の記載に関する陳情	荒井公德 氏	不採択
陳情第 11 号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林吟子 氏 ほか 7 人	不採択

みなさんの要望を市議会に請願・陳情できます

市議会では、皆さんの要望などを請願や陳情として受け付けています。
提出された請願や陳情は内容を審査し、採択か不採択を決定します。

請願

所管する委員会に付託して審査を行い、その結果をもとに、本会議で結論（議決）を出します。
請願は紹介議員が必要で、紹介議員は 2 人以内です。

陳情

受理された場合は所管する委員会に付託して審査を行いますが、本会議での議決は行わず、委員会の審査結果を本会議で報告します。紹介議員は必要ありません。

記載要件

- ・日本語を用いること
- ・議長宛てであること
- ・次のことが記載されていること
趣旨、提出年月日、住所及び氏名（※法人の場合はその名称及び代表者の氏名）、請願・陳情者の押印、紹介議員の署名または記名・押印（※請願の場合）

趣旨説明

請願・陳情の趣旨を明確にするために、提出者の希望によりその趣旨を説明する機会を設けています。詳細は議会事務局にお問い合わせください。

3 月定例会で審議・審査する請願・陳情の提出期限

2 月 22 日(月) 午後 3 時

詳細は上田市議会ホームページをご覧ください



令和3年3月定例会から

当初予算の審査方法を改革します!



注目!

ココが変わります!

特別委員会・分科会を設置

これまで一般会計予算に関する議案は、各常任委員会に分割して付託し、審査を行ってきました。

令和3年3月定例会からは、新たに「一般会計予算特別委員会」と各常任委員会を単位とする「分科会」を設置し、審査を行います。

「一般会計予算特別委員会」は、議長を除く全議員が出席する委員会です。各分科会で専門的な審査を実施した後、特別委員会で全体的な視点から審査を行います。

決算と予算の連動を図ることにより、これまで以上に深く、広く、市政の方向性について審査を行ってまいります。



▲一般会計決算特別委員会の様子
※一般会計決算は、平成29年から「特別委員会」を設置して審査を行っています。

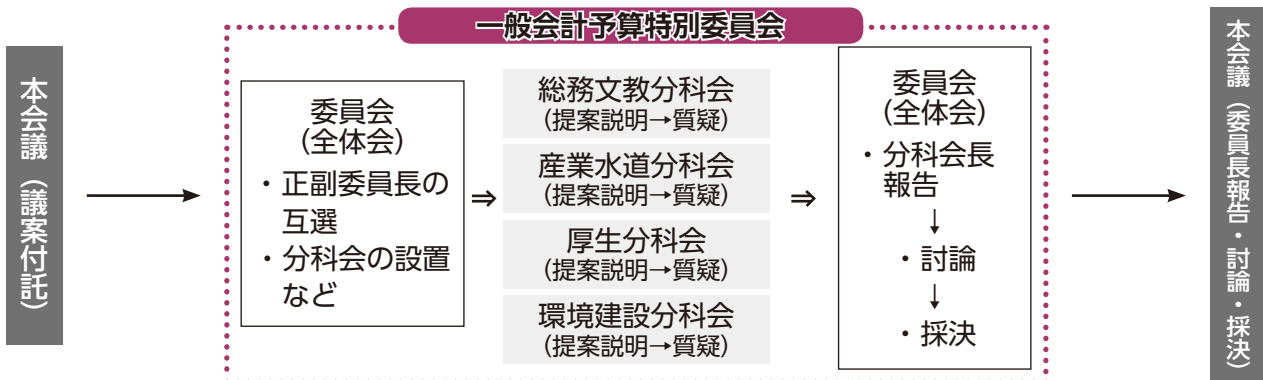
3月定例会日程のお知らせ

開会日 / 特別委員会	一般質問	常任委員会 / 分科会	特別委員会	最終日
2/19	3/1 ▷3/3	3/5、 3/8▷3/10	3/18	3/22

これまでの審査方法



令和3年3月定例会の審査方法



令和3年度の市議会開会予定日をお知らせします。皆さまの傍聴をお待ちしています。

※日程は変更になる場合があります。

令和3年6月定例会 >>> 6月7日(月)
 令和3年9月定例会 >>> 8月30日(月)
 令和3年12月定例会 >>> 11月29日(月)
 令和4年3月定例会 >>> 2月7日(月)



▲議場の傍聴席

必知

開会日以外の議会日程はいつ決まるの？

開会日の概ね1週間前に開催される議会運営委員会において、一般質問や常任委員会の開催日などを決定します。

日程が決まりましたら、市議会ホームページやSNSでお知らせいたしますので、ぜひご確認ください。



ホームページ



Facebook



Twitter

傍聴はどうすればできるの？

市役所本庁舎5階の議会事務局で受付をしていただければ、どなたでも議会の傍聴をしていただけます。

受付後にお渡しする「傍聴券」をお持ちください。

また、傍聴にお越しの際は、アンケートへのご協力をお願いします。



▲傍聴券

手話

を学ぼう

条例が制定されました

令和2年7月、手話などの理解・促進や普及、また障がいのある方などが住みやすい環境づくりなどの責務や役割を明確にし、手話などの意思疎通手段を日常生活で当たり前のように利用できる社会づくりを目指す、「上田市手話言語の普及及び視聴覚障害者等の意思疎通手段等の利用促進に関する条例」が制定されました。

条例制定を受けて、今号から「いま覚えてほしい手話」をお伝えしてまいります。

今回のテーマは

「こんにちは」



①人さし指と中指を重ねて、額の中央部分に当てます。



②両手の人さし指を立てて向かい合わせ、両方の指先を曲げます。

表紙デザインコンテスト受賞者の声

蔡 家樂さん

この度は、「うえだ市議会だより表紙デザインコンテスト」の特別賞をいただき、ありがとうございました。写真は、信州国際音楽村で撮影しました。チューリップだけでなく、桜やラベンダーなど、季節感のある上田市の魅力を伝える写真を撮り、発信したいと思います。